

TruMonitor

ユーザーズガイド

Rev. 1.0.5



有限会社ディーオーアイネット

免責事項

- 1) 本資料に掲載された内容に起因する直接的および間接的な損害またはその他の権利の侵害に関して当社は一切その責任を負わない。
- 2) 本資料によって第三者または当社の特許権その他の権利を承諾するものではない。
- 3) 本資料の一部または全部を当社に無断で転載複製する事を禁ずる。
- 4) 本資料に記載された仕様等は改良などの目的で予告なく変更する場合がある。

本資料に記載された会社名ならびに製品名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品を輸出する場合は外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

変更履歴

Rev.	発行年月日	修正内容
1.0.0	2010/11/11	初版
1.0.1	2012/04/17	バージョンアップに伴い対応 OS から Windows 2000 を削除。
1.0.2	2013/05/01	対応 OS に Windows 8、Windows Server 2012 を追記。 試用期間の変更。
1.0.3	2014/12/04	対応 OS から日本語版の表記を削除。
1.0.4	2015/07/22	対応 OS に Windows 10 を追記。
1.0.5	2023/10/27	対応 OS を変更。

目次

1. はじめに	9
2. 動作環境について	9
a. 対応 OS	9
3. TruMonitor の機能概要	9
a. 製品概要	9
i. シングルライセンス版	9
ii. ボリュームライセンス版	9
b. 検出対象デバイス	9
i. USB デバイス (USB HUB を除く)	9
1) シリアル番号を持たないデバイス	9
2) シリアル番号を持つデバイス	10
ii. ディスクデバイス (IDE、PCMCIA 等含む)	10
1) シリアル番号を持たないデバイス	10
2) シリアル番号を持つデバイス	10
c. 検出方法	10
i. ホワイトリスト	10
ii. フィルタ	10
1) ホワイトフィルタ	10
2) デバイスフィルタ	10
iii. 適用順序	10
d. 検出イベント	11
i. OS 起動時	11
ii. OS 起動後	11
e. イベント検出時保護動作	11
i. OS 起動時	11
1) 未許可デバイス静的装着検出時	11
ii. OS 起動後	11
1) 未許可デバイス動的装着検出時	11
2) 許可済みデバイスの動的取外し検出時	11
f. イベントログ	12
i. 装着許可デバイスの一括設定	12
ii. アセット管理	12
g. リムーバブル記憶域へのアクセス制御	12
i. 対応 OS	12
h. 管理者認証	12
4. 注意事項	13

5. インストールとアンインストール手順	13
a. インストール	13
b. アンインストール	16
6. 操作方法	18
a. 事前準備	18
b. 設定ウィザードの起動	18
i. ライセンスの検証	19
ii. 管理者の登録	20
iii. 管理者の認証	21
c. 基本設定	22
i. 既存のホワイトリストに追加する	22
ii. プログラム終了時にサービスを再起動する	22
iii. 製品識別子 (VID&PID) フィルタを使用する	22
iv. USB デバイスクラスフィルタを使用する	23
v. ディスクデバイスフィルタを使用する	23
vi. 装着許可デバイスが接続された時にログ出力する	23
vii. 設定ファイルのエクスポート	24
viii. 設定ファイルのインポート	25
ix. 製品登録	26
d. 管理者設定	28
i. 管理者特定機能を使用する	28
ii. 管理者登録	28
iii. 管理者削除	29
e. リムーバブル記憶域へのアクセス	31
f. USB デバイス一覧	33
g. 保護動作設定	34
h. ホワイトリストの設定	35
i. リフレッシュ	36
ii. 項目の削除	36
iii. リストのインポート	36
1) シングルライセンス版の場合	37
2) ボリュームライセンス版の場合	37
i. 取外し用ホワイト フィルタの設定	38
i. リフレッシュ	38
ii. 項目の削除	38
iii. リストのインポート	38
j. 装着用ホワイト フィルタの設定	39

i.	リフレッシュ.....	39
ii.	項目の削除.....	39
iii.	リストのインポート.....	39
k.	デバイスフィルタの設定.....	40
l.	設定ウィザードの終了.....	42

図表目次

図 1	セットアップウィザード起動画面	14
図 2	使用許諾契約画面	14
図 3	セットアップタイプの選択画面	15
図 4	インストール準備完了画面	15
図 5	インストールインジケータ画面	16
図 6	インストール完了画面	16
図 7	アプリと機能画面	17
図 8	アンインストール確認画面	17
図 9	アンインストールインジケータ画面	18
図 10	設定ウィザードの起動	19
図 11	試用期間中注意画面	19
図 12	試用期間終了注意画面	20
図 13	起動時管理者登録要求画面	20
図 14	管理者登録画面	20
図 15	管理者登録終了画面	21
図 16	管理者認証画面	21
図 17	設定ウィザード起動画面	22
図 18	基本設定画面 – 試用期間中	24
図 19	設定ファイルのエクスポート画面	25
図 20	エクスポートの終了画面	25
図 21	設定ファイルのインポート画面	26
図 22	インポートの終了画面	26
図 23	製品登録画面	27
図 24	基本設定画面 – 製品登録後	27
図 25	管理者設定画面	28
図 26	管理者追加登録画面	29
図 27	管理者削除画面	29
図 28	管理者削除画面 – リストから選択	29
図 29	管理者削除画面 – 削除	30
図 30	管理者削除画面 – リストから削除	30
図 31	管理者削除画面 – 全削除	30
図 32	管理者全削除確認画面	31
図 33	管理者削除画面 – リストから全削除	31
図 34	リムーバブル記憶域へのアクセス設定画面	32
図 35	書き込み禁止メッセージ画面	32
図 36	使用禁止メッセージ画面	33

図 37	USB デバイス一覧画面 - 取外し保護動作除外デバイスの設定例	34
図 38	保護動作設定画面	35
図 39	ホワイトリストの設定画面	36
図 40	ホワイトリストのインポート画面	37
図 41	外部ファイルからのインポート画面	38
図 42	ホワイトフィルタの設定画面 - 取外し用	39
図 43	ホワイトフィルタの設定画面 - 装着用	40
図 44	デバイスフィルタの設定画面	41
図 45	設定ウィザード - 設定終了	42
図 46	設定キャンセル時注意画面	43
図 47	リムーバブル記憶域ポリシー変更時注意画面	43

1. はじめに

本ユーザーズガイドでは、ディーオーアイネット社製 TruMonitor ならびに、TruMonitor の動作設定を行うユーティリティである TruMonitorConfig(以下、設定ウィザードと呼称)の操作手順を説明します。

2. 動作環境について

a. 対応 OS

Windows 10 32bit/64bit

Windows 11

Windows Server 2016

Windows Server 2019

3. TruMonitor の機能概要

a. 製品概要

TruMonitor は、OS のシステムサービスとして起動され、PC の USB ポートならびにディスクの接続状態の変化を監視し、事前許可されている USB ならびにディスクデバイス以外が装着された場合に、ログオフなど所定の保護動作を実行します。

また、USB デバイスが取り外された場合にも、あらかじめ設定しておいた保護動作を実行します。

保護動作実行時のイベントは、ログファイルに記録され、問題発生時の解析の一助となります。

i. シングルライセンス版

主に個人ユーザー向けの製品パッケージです。exe インストーラパッケージで提供されます。試用期間は 1 ヶ月です。試用期間中の機能制限はありません。

ii. ボリュームライセンス版

主に企業ユーザー向けの製品パッケージです。msi インストーラパッケージで提供されます。また、インストールされた PC 上の OS の「アプリと機能」からは削除できません。削除は Active Directory サーバーもしくは msi インストーラを再起動して実施します。32bit 版と 64bit 版があり、試用期間は 3 ヶ月です。試用期間中の機能制限はありません。

b. 検出対象デバイス

i. USB デバイス (USB HUB を除く)

1) シリアル番号を持たないデバイス

同一個体でも、接続 USB ポートが変わると、異なった個体として認識します。

2) シリアル番号を持つデバイス

Windows 2000 Service Pack 2 以前の OS、もしくは、デバイスが接続済みの Windows 2000 Service Pack 2 以前の OS からアップグレードインストールした OS では、同一個体でも、接続 USB ポートが変わると異なった個体として認識します。

Windows 2000 Service Pack 3 以降では、異なった USB ポートに接続しても、同一個体として認識します。

ii. ディスクデバイス (IDE、PCMCIA 等含む)

1) シリアル番号を持たないデバイス

同一個体でも、接続場所が変わると、異なった個体として認識します。

2) シリアル番号を持つデバイス

Windows 2000 Service Pack 2 以前の OS、もしくは、デバイスが接続済みの Windows 2000 Service Pack 2 以前の OS からアップグレードインストールした OS では、同一個体でも、接続場所が変わると異なった個体として認識します。

Windows 2000 Service Pack 3 以降では、異なった場所に接続しても、同一個体として認識します。

c. 検出方法

i. ホワイトリスト

特定の USB デバイスやディスクデバイスのみ接続を許可するホワイトリストに基づいて、デバイスを検出します。詳細は、後述のホワイトリストの設定の項をご参照ください。

ii. フィルタ

1) ホワイトフィルタ

USB デバイスやディスクデバイスの製品識別子 (VID&PID) に基づいて、接続や取外しを許可することが可能です。詳細は、後述のホワイトフィルタの設定の項をご参照ください。

2) デバイスフィルタ

接続や取外しを許可したい USB デバイスクラスに属するデバイスやディスクデバイス類を、任意にフィルタリング可能です。詳細は、後述のデバイスフィルタの設定の項をご参照ください。

iii. 適用順序

フィルタとホワイトリストの適用順序 (優先度の高い順) を下記に示します。

1. ディスクデバイスフィルタ
2. USB デバイスクラスフィルタ
3. ホワイトフィルタ
4. ホワイトリスト

フィルタやホワイトリストに合致しなかったデバイスが未許可デバイスとして検出されません。

d. 検出イベント

i. OS 起動時

PC に静的に装着されている未許可デバイス

ii. OS 起動後

未許可デバイスの PC への動的装着

許可済みデバイスの PC からの動的取外し

設定ウィザードにより、検出を無視するデバイスを選択的に指定可能です。

e. イベント検出時保護動作

i. OS 起動時

1) 未許可デバイス静的装着検出時

予め指定した下記に示す動作のうち何れか一つを実施します。

ワークステーションロック

ログオフ

OS のシャットダウン

PC の電源オフ

再起動

取り外し（未許可装着デバイスの論理的取り外し）

何もしない

ii. OS 起動後

1) 未許可デバイス動的装着検出時

予め指定した下記に示す動作のうち何れか一つを実施します。

ワークステーションロック

ログオフ

OS のシャットダウン

PC の電源オフ

再起動

取り外し（未許可装着デバイスの論理的取り外し）

何もしない

2) 許可済みデバイスの動的取外し検出時

予め指定した下記に示す動作のうち何れか一つを実施します。

ワークステーションロック

ログオフ

OS のシャットダウン

PC の電源オフ

再起動

何もしない

f. イベントログ

前述のイベントが検出された時、そのイベントログデータはクライアント PC に保存されます。

注) ディーオーアイネット社製 TruLog Service を併用することにより、専用ビューアーによるイベントログデータの参照や、ネットワーク上の別 PC にイベントログデータを保存することが可能です。ボリュームライセンス版は、TruLog Service の併用を前提としています。TruLog Service のインストールには、別紙 TruLog Service Client/Server Configuration ユーザーズガイドをご参照ください。

i. 装着許可デバイスの一括設定

イベントログデータからデバイスリストを生成できます。デバイスリストを用いると、ホワイトリストの一括設定が可能です。

- ① 本製品の導入時に、各保護動作を「何もしない」のままで、暫定運用します。
- ② 暫く運用した後、その間に接続されたデバイスの一覧を、後述の「ホワイトリストの設定」ページの「リストのインポート」機能を用いて取り込みます。
- ③ 必要に応じてデバイスの取捨選択やフィルタ設定を行います。
- ④ 各保護動作を本来希望する動作に変更し、本運用します。

ii. アセット管理

設定ウィザードの「装着許可デバイスが接続された時にログ出力する」機能を用いることにより、上記の専用ビューアーで装着許可デバイスの利用状況を把握することが可能です。

g. リムーバブル記憶域へのアクセス制御

リムーバブルデバイスへの書込みやアクセスを制限することができます。

i. 対応 OS

Windows XP 日本語版 Service Pack 2 以降

一部のデバイスのみに対応

Windows Vista 日本語版以降

全デバイスに対応

h. 管理者認証

設定ウィザードの利用に際し、登録した管理者のみに操作を許可することができます。

注) ディーオーアイネット社製 TruGate を併用することにより、生体認証デバイスなどによる管理者認証が可能となります。また、その際に前述の TruLog Service も併用している場合、認証ログデータも保存されます。

4. 注意事項

1. イベント検出時保護動作で、ログオフ、シャットダウン、再起動、電源オフを選択していると、保護動作が実行された際に、動作中のアプリケーションは強制終了させられ、その時点で保存していない文書等の情報は失われる事があります。
2. 設定ウィザードを実行している間は、イベント検出機能は一時停止しています。
3. 検出対象デバイスの取外しもしくは装着からイベント検出時保護動作実行開始までの時間は、検出対象デバイスの取外しもしくは装着が、PC および Windows の Plug And Play 機能で検出される時間に依存します。
4. USB のホストコントローラが複数あるハードウェア構成の PC には対応しておりません。
5. シングルライセンス版とボリュームライセンス版を、一緒に同一 PC にインストールしないでください。
6. OS や Service Pack のエディションによっては、イベント検出時保護動作のシャットダウン、再起動、電源オフが正常に実施されない場合があります。その際は、Windows Update を実施してください。

5. インストールとアンインストール手順

注) プログラムのインストール及びアンインストールは、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。ボリュームライセンス版のインストールには、別紙 TruMonitor クライアントセットアップガイドをご参照ください。

a. インストール

TruMonitor Trusted Stackware Illegal Device Interceptor.exe を実行すると下記に示す画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 1 セットアップウィザード起動画面

次に、使用許諾契約画面が表示されますので、画面中の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みになった上、ご同意頂ける場合のみ「使用許諾契約書のすべての条項に同意します」ラジオボタンをチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

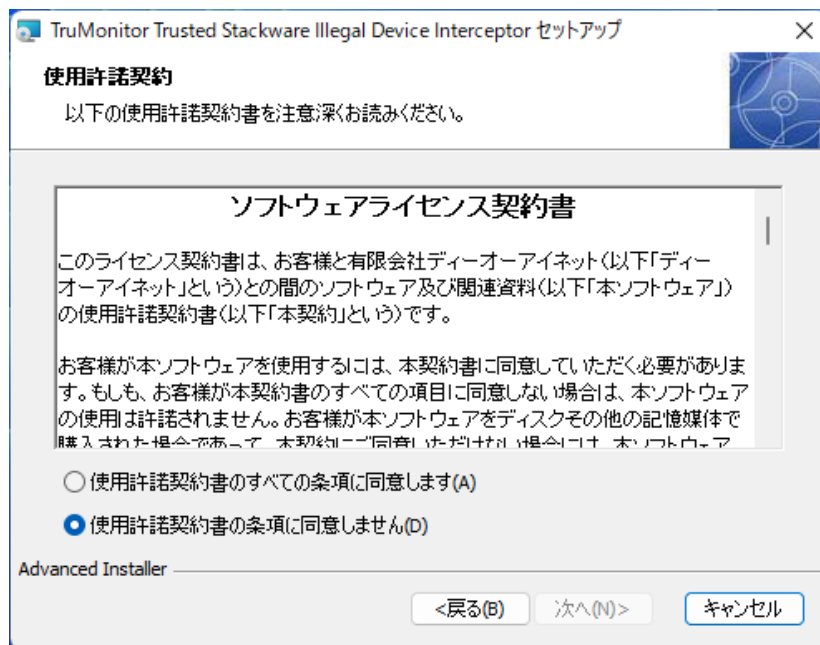


図 2 使用許諾契約画面

次に、セットアップタイプの選択画面が表示されたら、利用環境に応じて選択してください。



図 3 セットアップタイプの選択画面

次に、インストール準備完了画面が表示されますので、ここまでの操作で変更の必要が無い場合は、「インストール」ボタンをクリックしてください。変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックし、変更を希望する画面まで戻って、やり直してください。

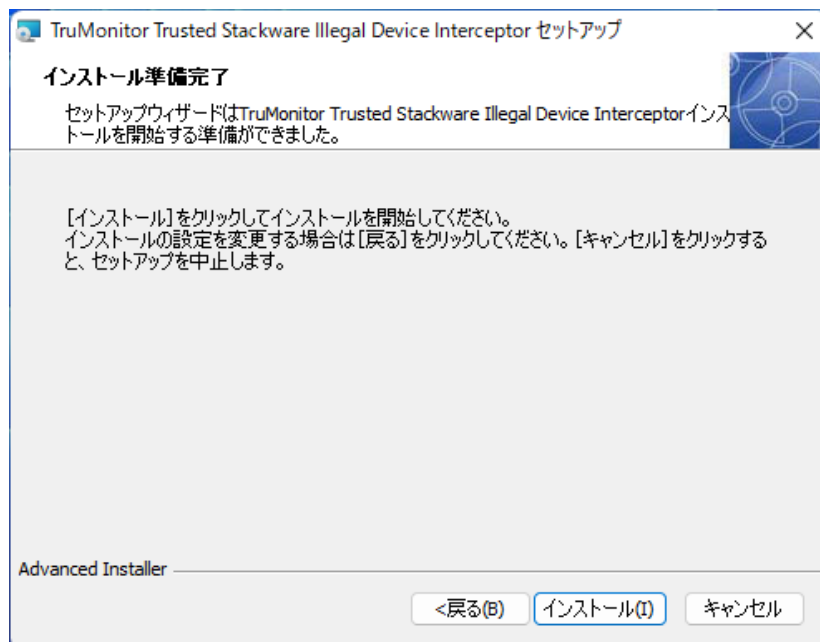


図 4 インストール準備完了画面

インストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

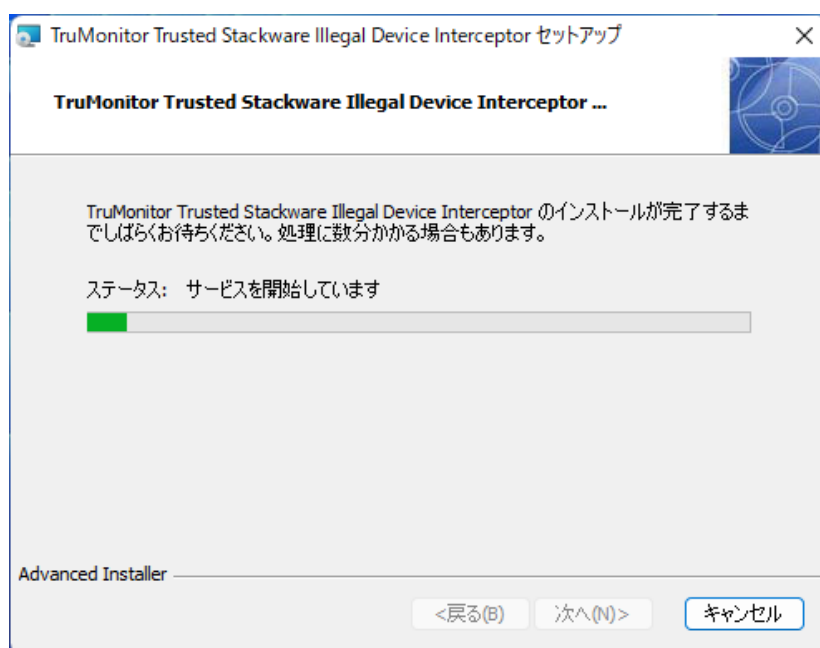


図 5 インストールインジケータ画面

インストールが終了すると、下記に示すインストール完了画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



図 6 インストール完了画面

b. アンインストール

注) 後述の「リムーバブル記憶域へのアクセス設定」機能を使用している場合、アンインストール

ールにする前に設定を元に戻し、それを反映させた後、アンインストールしてください。

OS の「アプリと機能」から TruMonitor Trusted Stackware Illegal Device Interceptor を選択してください。

以下は、Windows 11 での操作例です。

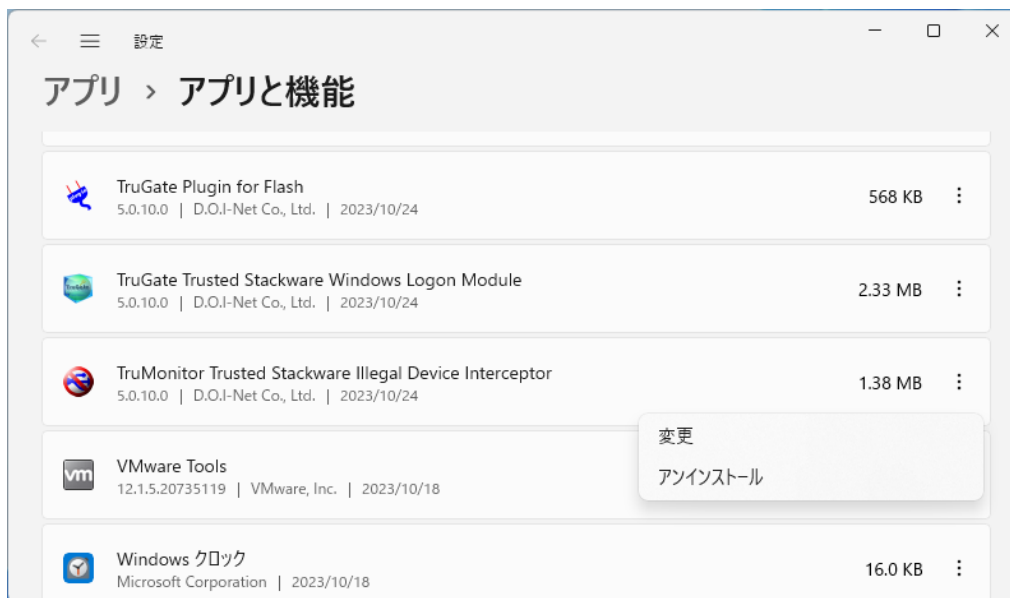


図 7 アプリと機能画面

アンインストールをクリックし、メッセージに従って TruMonitor のアンインストールを行ってください。

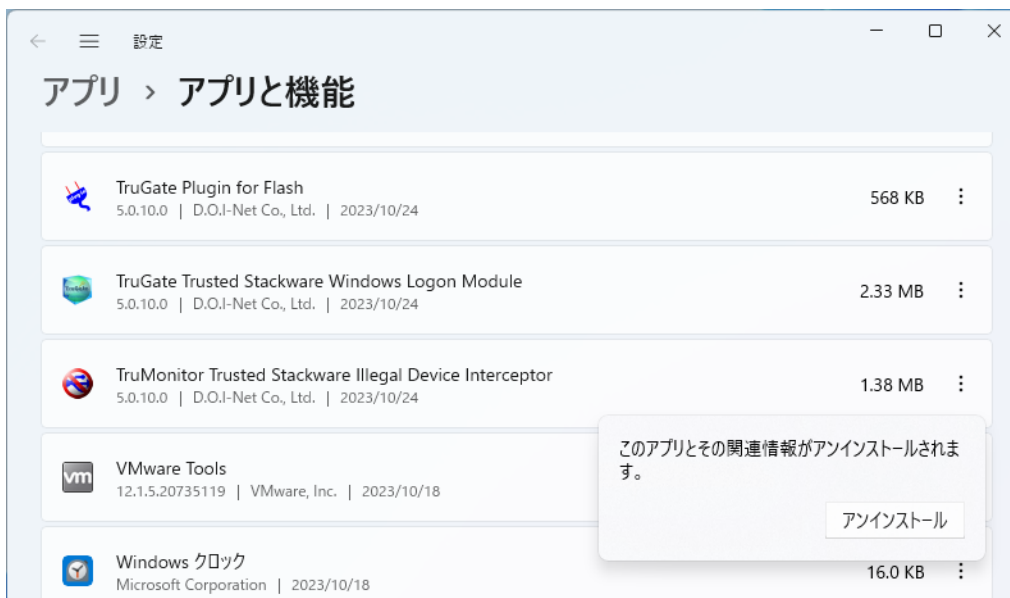


図 8 アンインストール確認画面

アンインストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。



図 9 アンインストールインジケータ画面

アンインストールが終了すると、インジケータ画面が消えます。

6. 操作方法

TruMonitorによって保護動作を実施させるには、設定ウィザードを用いてTruMonitorの設定を行う必要があります。

注) 設定ウィザードの操作は、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。また、設定ウィザードを実行している間は、イベント検出を行いません。装着を許可するデバイスを追加する場合は、設定ウィザードの起動画面が表示されてからPCに装着してください。

a. 事前準備

TruMonitor を初めて使用する場合、インストール後、設定ウィザードを起動する前に、使用を許可するデバイスを全て接続してください。接続したデバイスは、そのままだでも取り外してもかまいません。

b. 設定ウィザードの起動

「スタート」－「すべてのアプリ」－「TruStack」－「TruMonitor の設定」の順にクリックします。

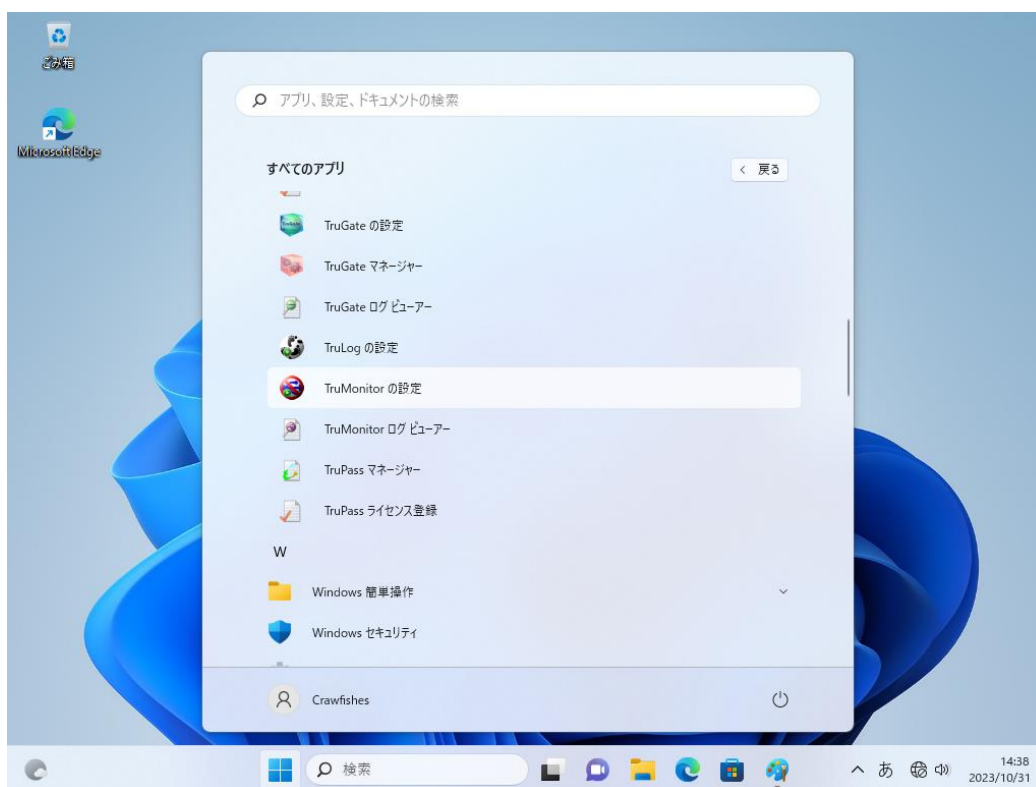


図 10 設定ウィザードの起動

i. ライセンスの検証

試用期間中の場合、下記に示す様なポップアップメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

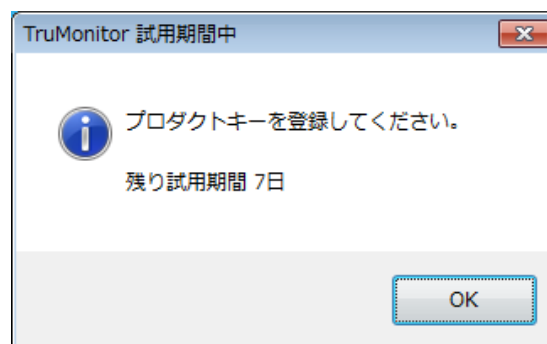


図 11 試用期間中注意画面

注）シングルライセンス版の試用期間は1ヶ月、ボリュームライセンス版の試用期間は3ヶ月です。インストール後、試用期間を経過すると保護動作を行いません。引き続き使用する場合は、製品登録を行ってください。

試用期間が過ぎた場合は、下記に示す様なダイアログが表示されます。ダイアログが表示された場合は、別途入手したプロダクトキーをエディットボックスに入力して「OK」ボタン

をクリックするか、「キャンセル」ボタンをクリックした後アンインストールしてください。

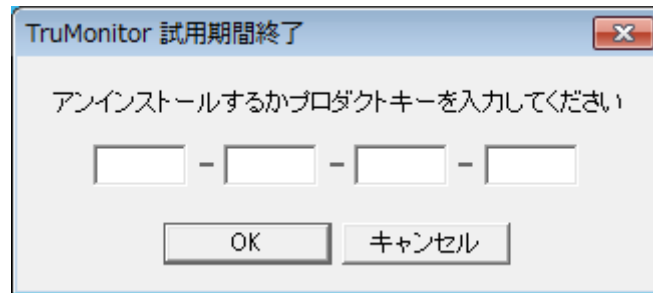


図 12 試用期間終了注意画面

ii. 管理者の登録

後述の「管理者設定」において、「管理者特定機能を使用する」チェックボックスがチェックされており、且つ管理者が登録されていなかった場合、起動時に管理者の登録を行う必要があります。

下記の画面が表示されましたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

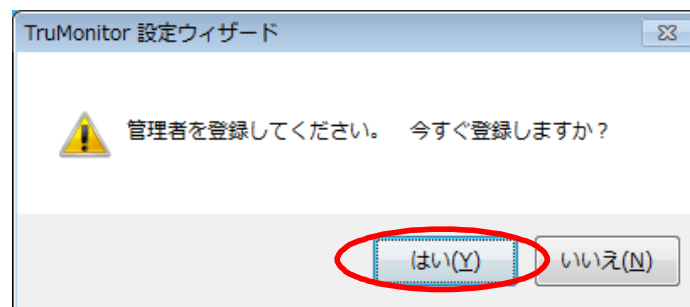


図 13 起動時管理者登録要求画面

次に、下記画面が表示されましたら、管理者として登録するユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックします。

注）ディーオーアイネット社製 TruGate を併用している場合、登録したい管理者名は、TruGate のユーザーとして、事前に登録されていなければなりません。ダイアログ中のデバイス選択...ボタンは、TruGate 併用時にのみ追加表示されます。

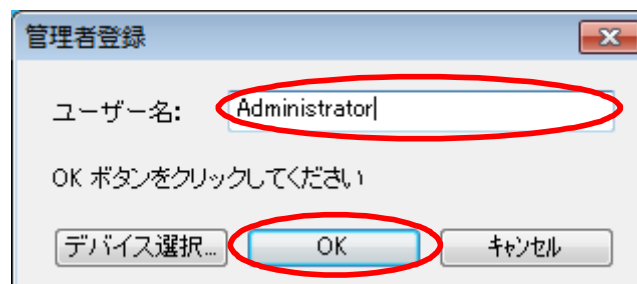


図 14 管理者登録画面

起動時の管理者登録が終了すると、確認画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックし、次項の管理者の認証を行ってください。

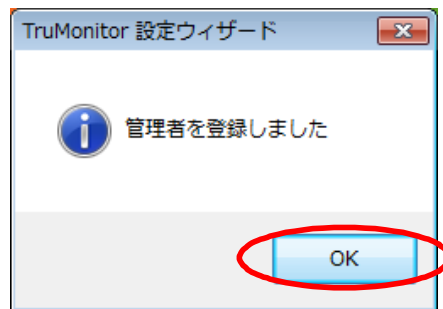


図 15 管理者登録終了画面

iii. 管理者の認証

後述の「管理者設定」において、「管理者特定機能を使用する」チェックボックスがチェックされていると、ライセンスの検証後に下記に示す様な管理者認証ダイアログが表示されます。

ダイアログが表示されましたら、登録済み管理者のユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックし、認証を実施してください。

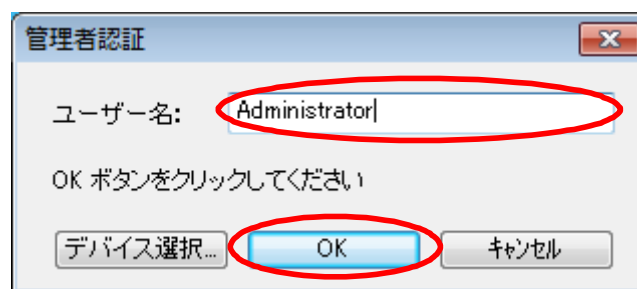


図 16 管理者認証画面

認証に成功すると設定ウィザードが起動され、下記に示す画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックして設定を開始してください。

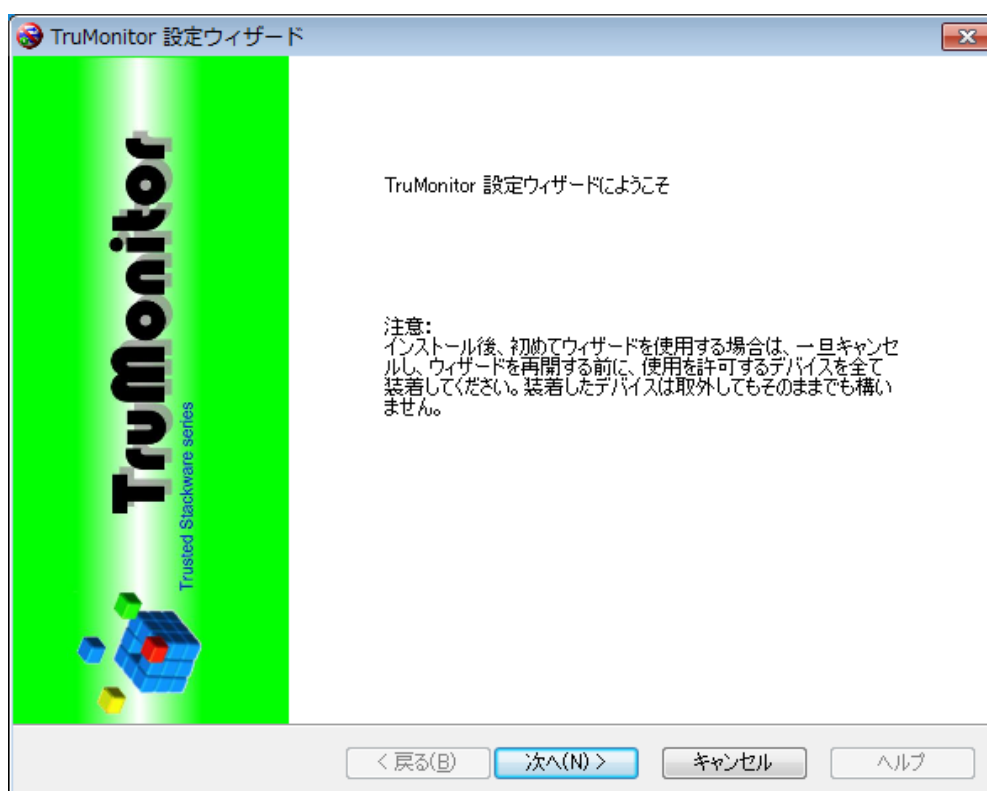


図 17 設定ウィザード起動画面

c. 基本設定

「基本設定」のページが表示されたら、必要に応じて下記に示すチェックボックスをチェックもしくはアンチェックしてください。

i. 既存のホワイトリストに追加する

このチェックボックスをチェックすると、同一ポートに対する装着許可デバイスを複数登録することが出来ます。

初期値: チェック

ii. プログラム終了時にサービスを再起動する

このチェックボックスをチェックすると、設定ウィザードを終了した後に、TruMonitor サービスを再起動します。再起動する際に、新しく設定された保護動作やホワイトリストが適用されます。

初期値: チェック

iii. 製品識別子(VID&PID)フィルタを使用する

このチェックボックスをチェックすると、後述の「ホワイトフィルタの設定(取外し用)」と「ホワイトフィルタの設定(装着用)」ページが有効になります。

ホワイトフィルタが有効な場合、デバイスの検出を行う際にホワイトフィルター一覧に含まれる製造者番号・製品番号と同じデバイスは保護対象外になります。

他の PC でエクスポートした設定ファイルをインポートして利用する場合に、このチェックボックスをチェックし、ホワイトフィルタの設定を行ってください。また、接続場所や接続する USB ポートが頻繁に変わる場合にも、このチェックボックスをチェックし、ホワイトフィルタの設定を行ってください。

初期値: アンチェック (シングルライセンス版)

初期値: チェック (ボリュームライセンス版)

iv. USB デバイスクラスフィルタを使用する

このチェックボックスをチェックすると、後述の「デバイスフィルタ設定」ページが有効になるとともに、ページ中の「USB デバイスクラスフィルタ」が有効になります。

USB デバイスクラスフィルタが有効な場合、「USB デバイスクラスフィルタ」項でチェックされたデバイスクラスに属するデバイスは保護対象外になります。

初期値: アンチェック (シングルライセンス版)

初期値: チェック (ボリュームライセンス版)

v. ディスクデバイスフィルタを使用する

このチェックボックスをチェックすると、後述の「デバイスフィルタ設定」ページが有効になるとともに、ページ中の「ディスクデバイスフィルタ」が有効になります。

ディスクデバイスフィルタが有効な場合、「ディスクデバイスフィルタ」項でチェックされたディスクデバイスに属するディスクは保護対象外になります。

初期値: アンチェック (シングルライセンス版)

初期値: チェック (ボリュームライセンス版)

vi. 装着許可デバイスが接続された時にログ出力する

このチェックボックスをチェックすると、装着許可デバイスの静的装着検出時および動的装着検出時にイベントログ出力を行います。

初期値: アンチェック

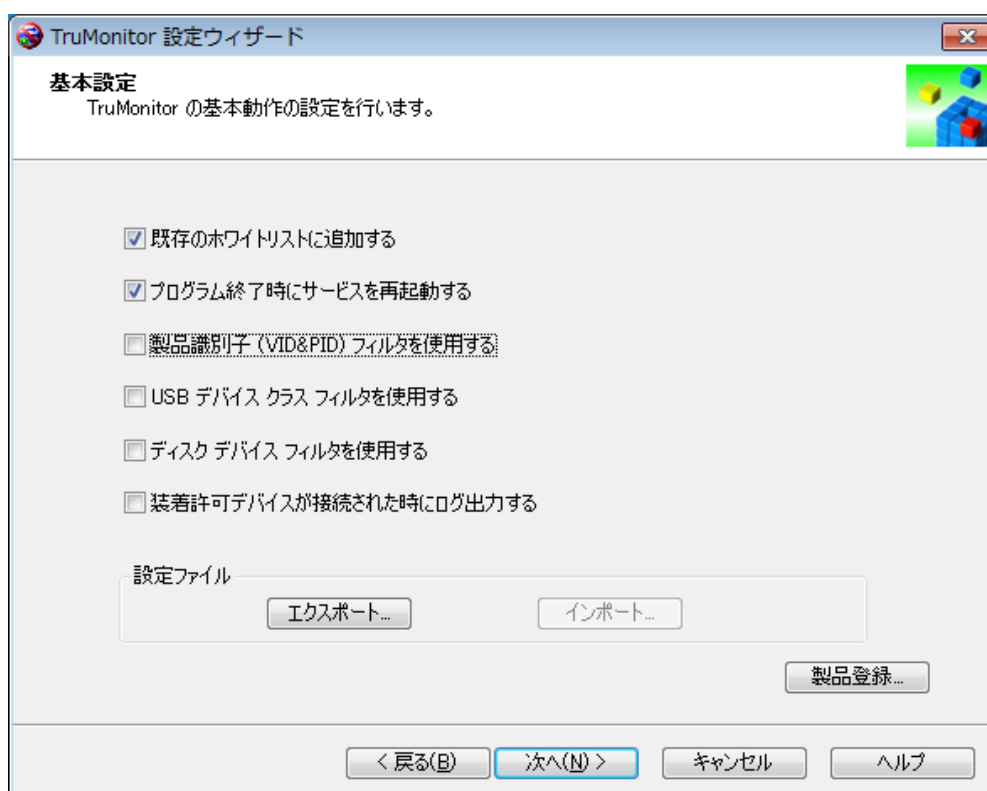


図 18 基本設定画面 – 試用期間中

vii. 設定ファイルのエクスポート

設定ファイルのエクスポートを行う場合は、「基本設定」ページ中の「エクスポート…」ボタンをクリックしてください。

注）エクスポートは、既に設定されている内容出力します。直近に行った設定で、「完了」ボタンをクリックして保存したときの内容が反映されます。通常の手順では、一旦設定を行った後に、再度、設定ウィザードを起動し、エクスポートした後、設定ウィザードをキャンセルで終了してください。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されたら、エクスポートしたいファイルの場所を指定し、ファイル名コンボボックスに、任意のエクスポートファイル名を入力した後、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートを中止します。

ボリュームライセンス版をご利用で、配布用の設定ファイルをエクスポートする場合は、「ファイルの種類」ドロップダウンリストで「ポリシー テンプレート」か「レジストリファイル」を選んでエクスポートしてください。

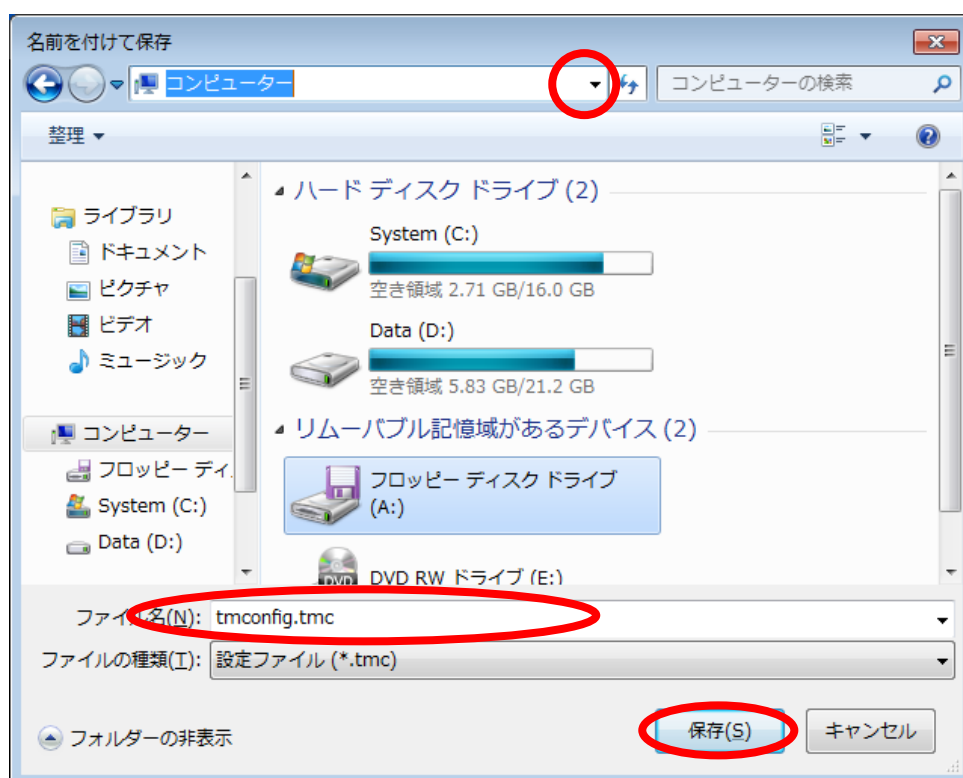


図 19 設定ファイルのエクスポート画面

正常にエクスポートされた場合、下記に示す様な「エクスポートの終了」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

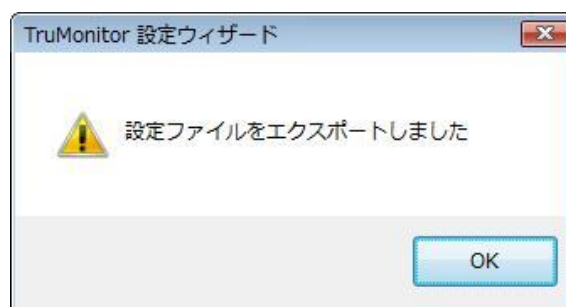


図 20 エクスポートの終了画面

viii. 設定ファイルのインポート

設定ファイルのインポートを行う場合は、「基本設定」ページ中の「インポート...」ボタンをクリックしてください。

注）「インポート...」ボタンは、「既存のホワイトリストリストに追加する」チェックボックスと「製品識別子 (VID&PID) フィルタを使用する」チェックボックスの、両方がチェックされている時に有効になります。また、インポートを実施すると、設定情報は直ちに上書きされます。インポート実施後の、「キャンセル」ボタンによるインポート操作の取り消しはできま

せんので、ご注意ください。

「開く」(「ファイルを開く」)ダイアログが表示されたら、インポートするファイルの場所を指定し、ファイル名コンボボックスに、インポートファイル名を入力した後、「開く」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、インポートを中止します。

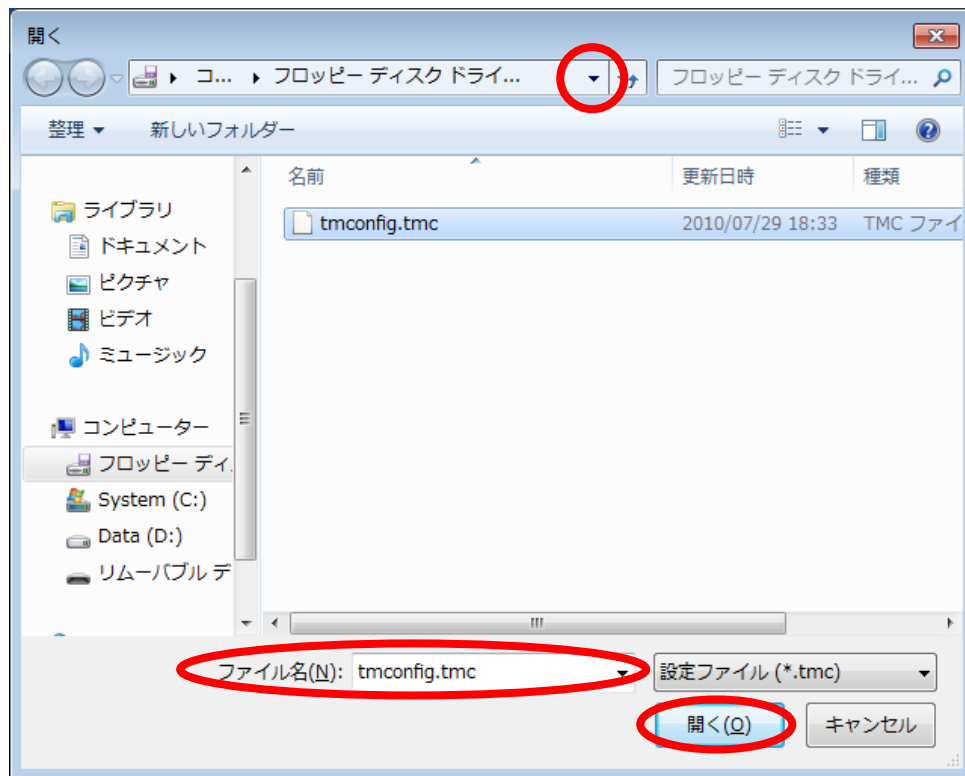


図 21 設定ファイルのインポート画面

正常にインポートされた場合、下記に示す「インポートの終了」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

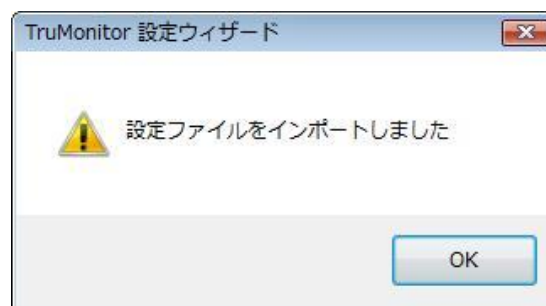


図 22 インポートの終了画面

ix. 製品登録

製品登録を行う場合は、「基本設定」ページ中の「製品登録...」ボタンをクリックしてくださ

い。

「製品登録」ダイアログが表示されたら、別途入手したプロダクトキーをエディットボックスに入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、製品登録を中止します。

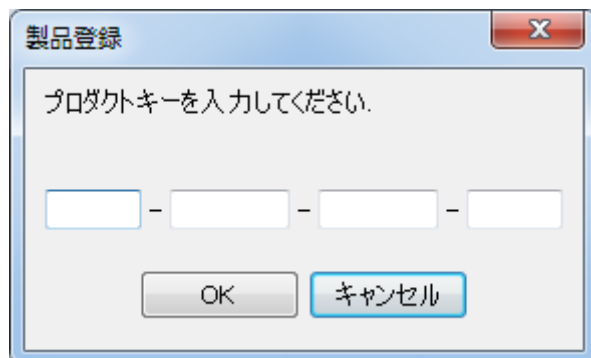


図 23 製品登録画面

プロダクトキーの認証に成功し、製品登録が正常終了すると、下図に示す様に「基本設定」ページ中の「製品登録...」ボタンが消えます。

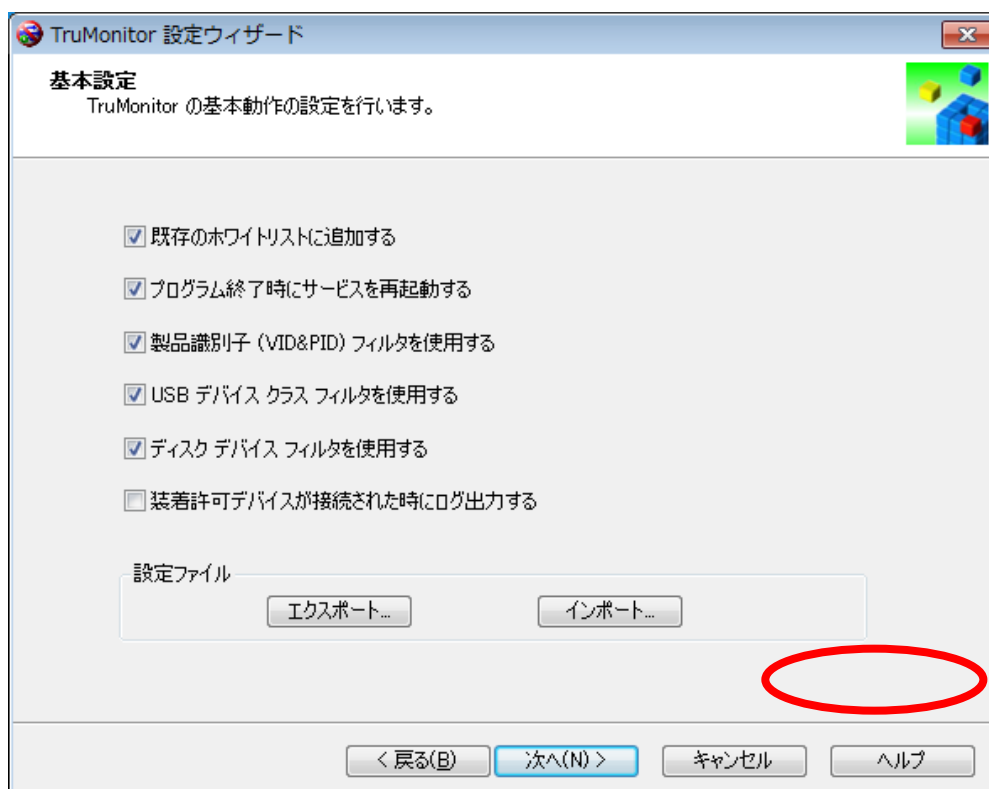


図 24 基本設定画面 - 製品登録後

d. 管理者設定

「管理者設定」ページでは、設定ウィザードの使用を許可する管理者の登録、削除、ならびに管理者特定機能の使用可否を設定します。

注）登録済み管理者名は、設定ファイルに含まれません。「基本設定」ページの「エクスポート...」や「インポート...」の操作対象外です。

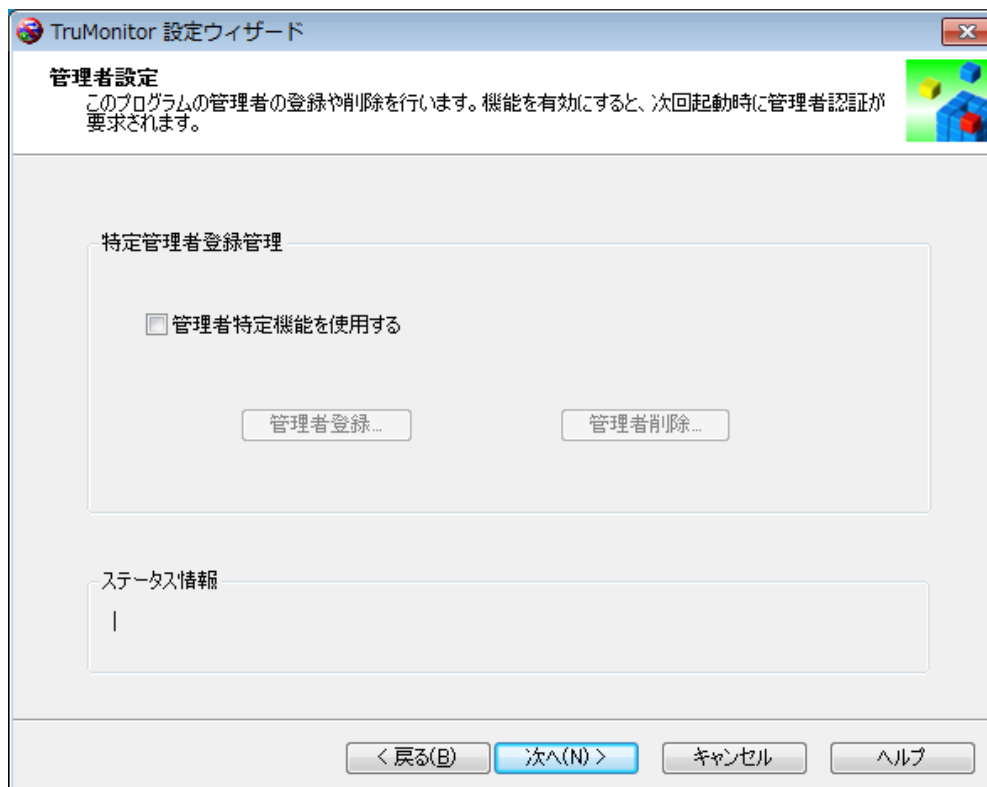


図 25 管理者設定画面

i. 管理者特定機能を使用する

設定ウィザードの使用を特定の管理者にのみ許可したい場合、このチェックボックスをチェックしてください。

初期値： アンチェック

ii. 管理者登録

「管理者特定機能を使用する」チェックボックスがチェックされている時のみ、このボタンは有効です。このボタンをクリックすると下記に示すような、管理者登録画面が表示されます。画面が表示されましたら、管理者として追加登録したいユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックします。

注） ディーオーアイネット社製 TruGate を併用している場合、登録したい管理者名は、TruGate のユーザーとして、事前に登録されていなければなりません。また、TruGate 併用時はダイアログ中に「デバイス選択...」ボタンが追加表示されます。

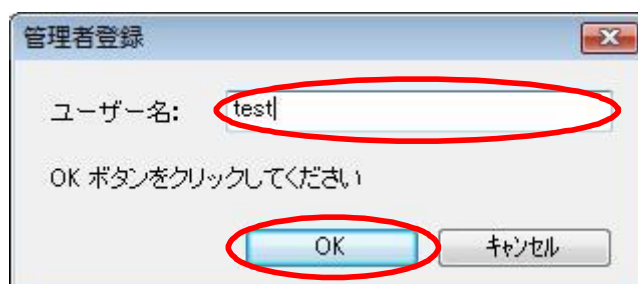


図 26 管理者追加登録画面

iii. 管理者削除

「管理者特定機能を使用する」チェックボックスがチェックされている時のみ、このボタンは有効です。このボタンをクリックすると下記に示すような、管理者削除画面が表示されます。

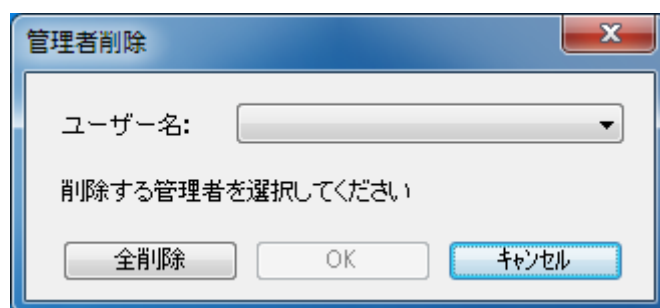


図 27 管理者削除画面

画面が表示されましたら、削除したい管理者を、ユーザー名ドロップダウンリストから選択します。

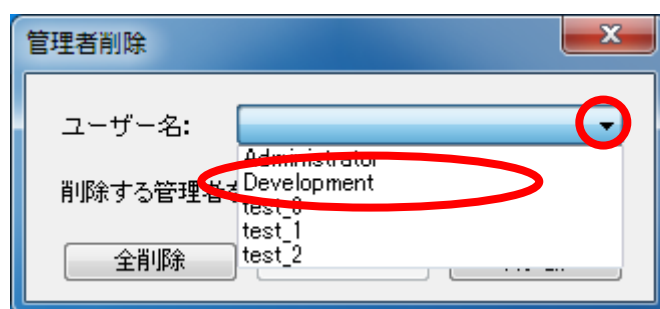


図 28 管理者削除画面 - リストから選択

削除したい管理者を選択したら、「削除」ボタンをクリックしてください。

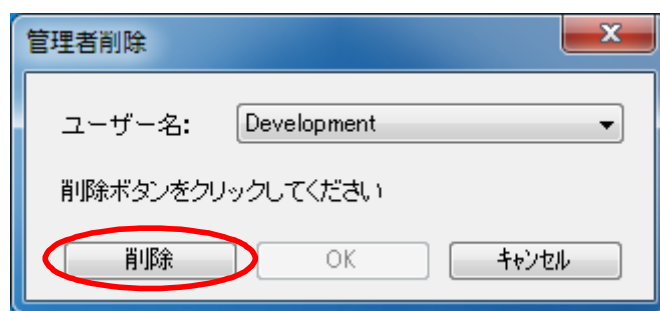


図 29 管理者削除画面 - 削除

リストから管理者の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

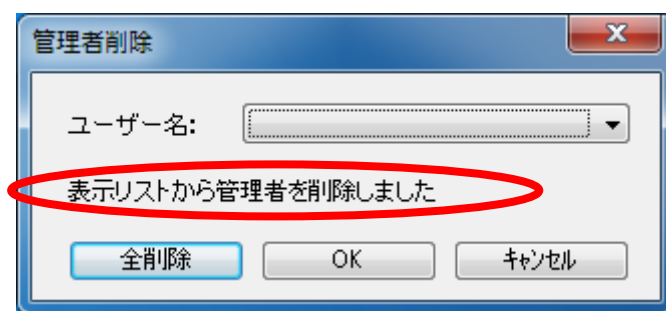


図 30 管理者削除画面 - リストから削除

全ての管理者の削除を行いたい場合は、「全削除」ボタンをクリックしてください。

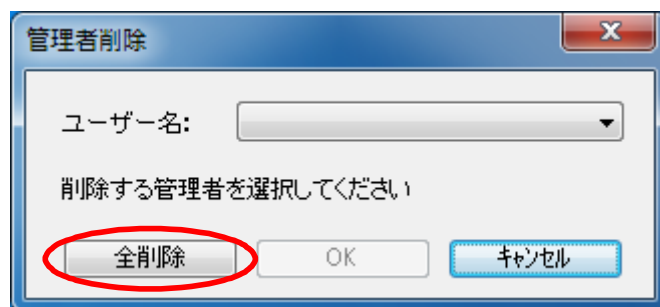


図 31 管理者削除画面 - 全削除

全削除の場合は、下記に示す確認ダイアログが表示されます。全ての管理者を削除してよい場合のみ、「はい」ボタンをクリックしてください。

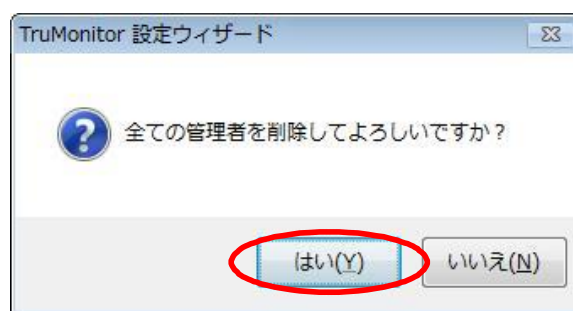


図 32 管理者全削除確認画面

リストから全ての管理者の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、全ての管理者の削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

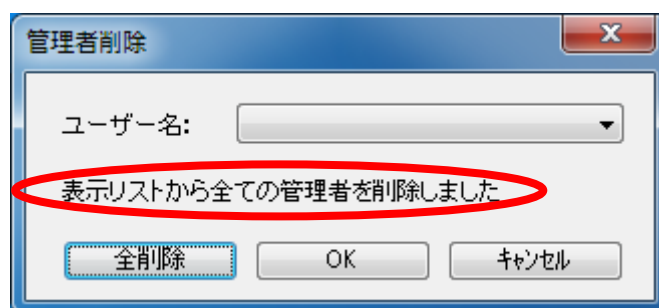


図 33 管理者削除画面 - リストから全削除

e. リムーバブル記憶域へのアクセス

「リムーバブル記憶域へのアクセス設定」ページでは、リムーバブルデバイスの使用可否を設定します。使用を禁止したいデバイスがある場合は、使用禁止欄の該当デバイスをチェックしてください。書込みのみ禁止したい場合は、書込み禁止欄の該当デバイスをチェックしてください。

注）本機能は、OS が参照するレジストリ値に変更を加えます。設定可能な項目および適用される項目は、使用している OS に依存します。全ての項目が適用可能な OS は Vista 以降のエディションです。既に OS のグループポリシーの「リムーバブル記憶域へのアクセス設定」等で該当するデバイスのアクセス制御を実施している場合は、同じ内容を設定してください。また、プログラムをアンインストールする際は、先に設定を元に戻して、それを反映させた後、アンインストールしてください。

以下に夫々の初期値を示します。

使用禁止

初期値： 全てアンチェック

書込み禁止

初期値: 全てアンチェック

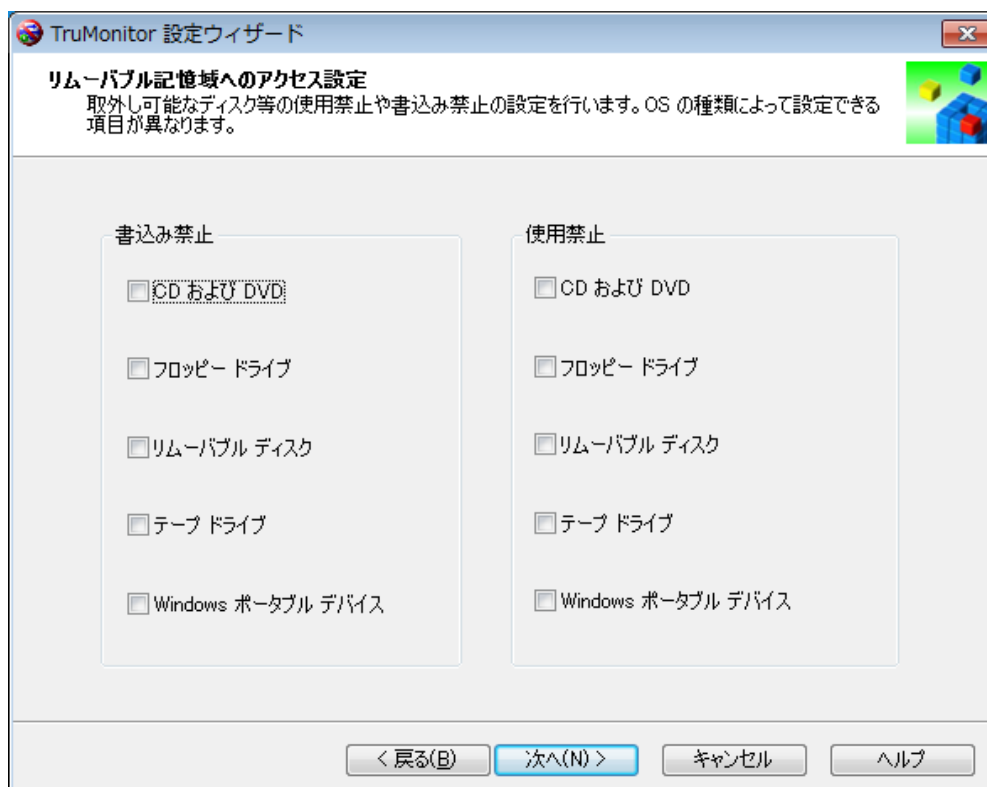


図 34 リムーバブル記憶域へのアクセス設定画面

書き込み禁止に設定されたデバイスへ書き込みを行うと、下記に示すようなメッセージが表示されます。メッセージは OS のエディションや対象のデバイスによって異なります。



図 35 書き込み禁止メッセージ画面

使用禁止に設定されたデバイスへアクセスを行うと、下記に示すようなメッセージが表示されます。メッセージは OS のエディションや対象のデバイスによって異なります。

注) CD および DVD を書き込み禁止に設定していても、CD ライタや IMAPI(Image Mastering Applications Programming Interface)を使用しないサードパーティのアプリケーションを使

う場合は、CD および DVD を作成および修正することができます。そのような場合はアプリケーションの使用を禁止してください。

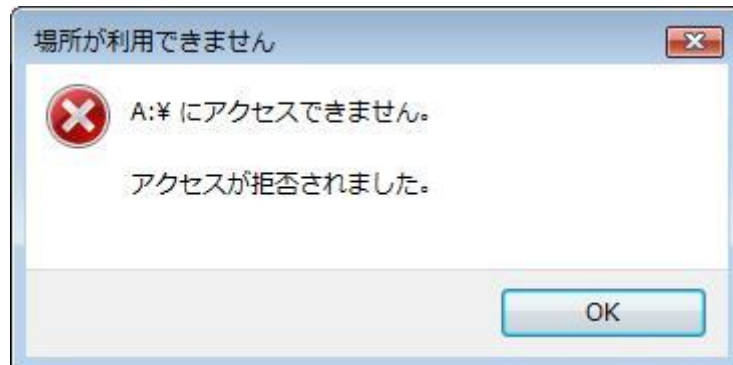


図 36 使用禁止メッセージ画面

f. USB デバイス一覧

「USB デバイス一覧」ページでは、現時点で装着されている USB デバイスツリーを表示すると共に、各 USB デバイス(HUB、ROOT HUB を除く)に対し、後述の「保護動作設定」ページにおける「取外し保護動作」を適用するか否か、個々に設定します。頻繁に取外しと装着を繰り返す USB マウス等の「取外し保護動作」を適用しないデバイスのチェックボックスをチェックしてください。

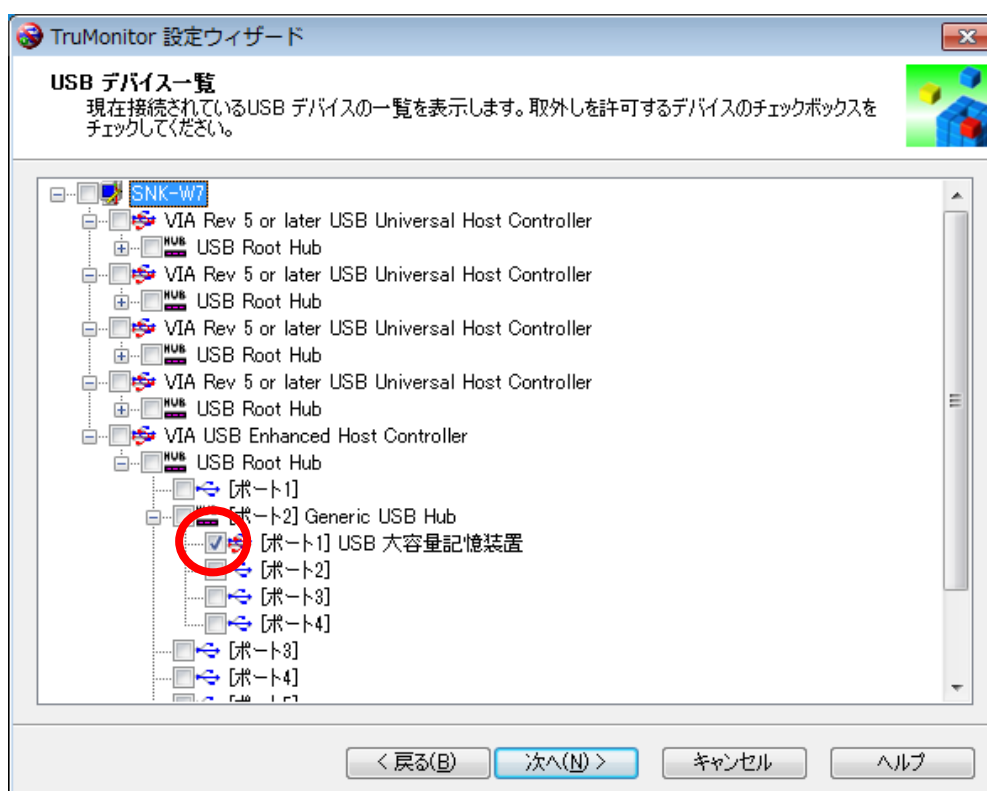


図 37 USB デバイス一覧画面 - 取外し保護動作除外デバイスの設定例

g. 保護動作設定

「保護動作設定」ページでは、検出対象デバイスの取外し時ならびに装着時に発生する P&P イベント検出時、および OS 起動時の未許可デバイス検出時の保護動作を指定します。取外し保護除外デバイスでないものが取り外された時、未許可デバイスが装着された時、ならびに OS 起動時に未許可デバイスが検出された時の夫々において実施したい保護動作のラジオボタンをクリックして指定します。

以下に夫々の初期値を示します。

取外し時保護動作

初期値： 何もしない

装着時保護動作

初期値： 何もしない

起動時保護動作

初期値： 何もしない

注) 保護動作実行時に「取り外し」が実行できない時は「ロック」が実行されます。

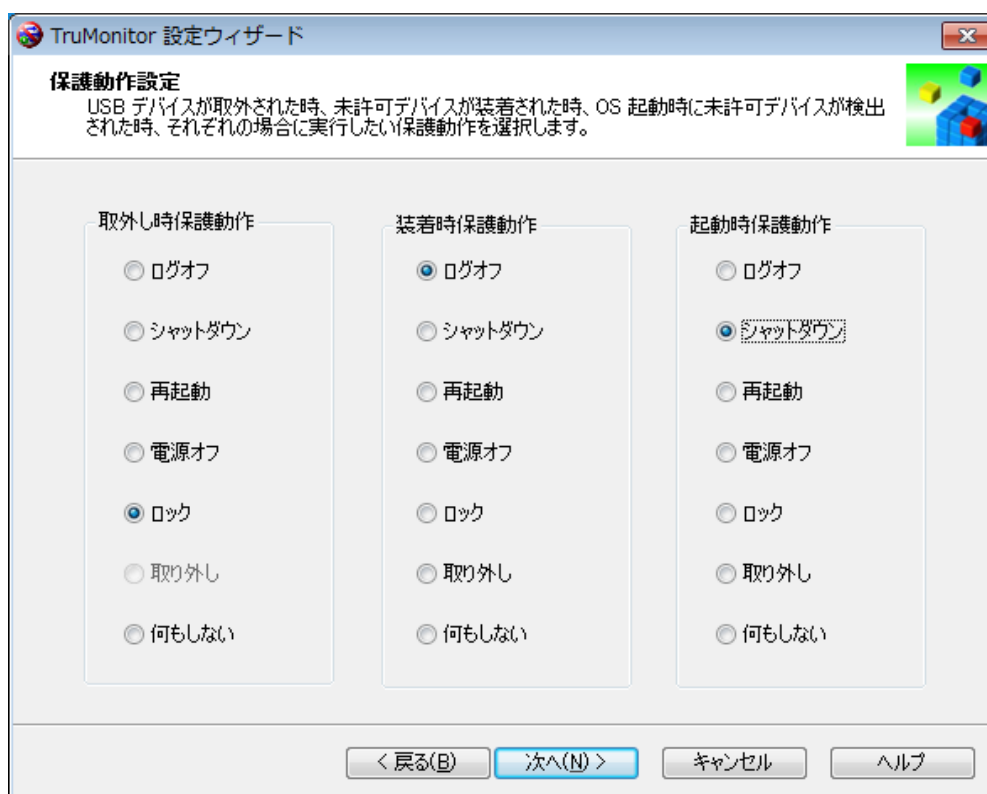


図 38 保護動作設定画面

h. ホワイトリストの設定

「ホワイトリストの設定」ページでは、装着を許可するデバイスの一覧を表示するとともに、装着を許可するデバイスの追加や削除を行います。また、後述の「ホワイトフィルタの設定(装着用)」ページや「デバイスフィルタの設定」ページの設定内容が表示項目に反映されます。

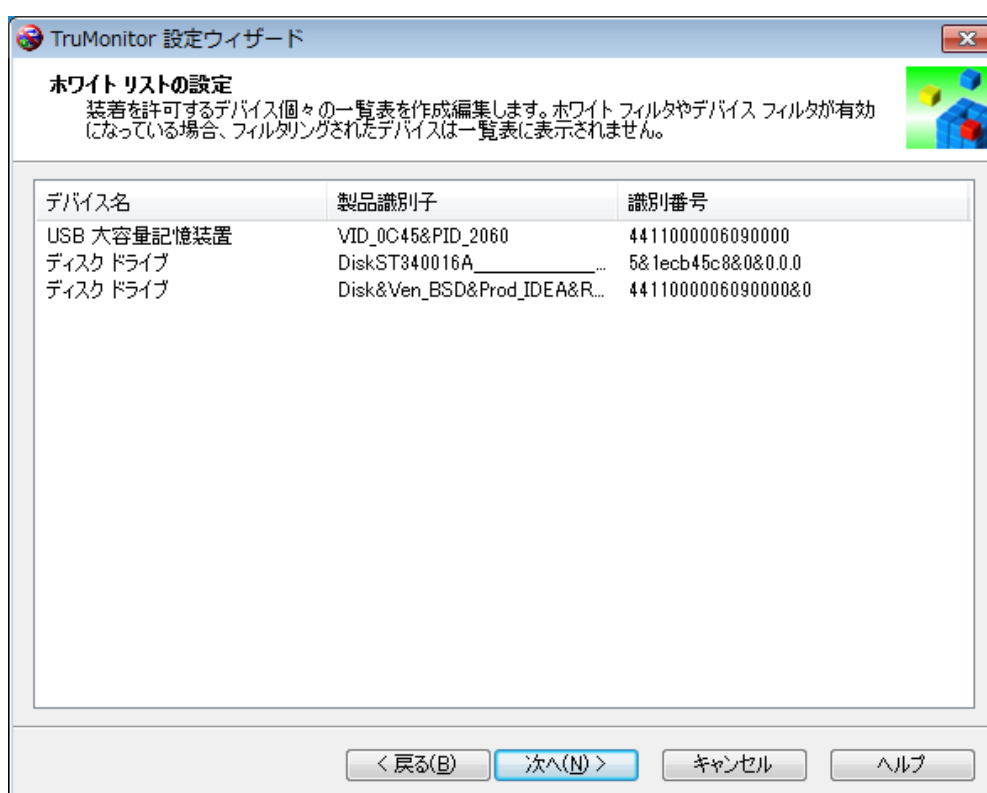


図 39 ホワイトリストの設定画面

i. リフレッシュ

ページが描画される時、あるいはマウスの右ボタンがシングルクリックされた時に、リストが更新されます。更新されたリストには、現在接続されているデバイスが含まれます。

ii. 項目の削除

装着を許可しないデバイスをリスト上で選択し、マウスの左ボタンをダブルクリックすると、選択されたデバイスがリストから削除されます。

注) 但し、装着されているデバイスは、削除できません。

iii. リストのインポート

「基本設定」ページで、「既存のホワイトリストに追加する」チェックボックスがチェックされている場合、リストのインポートができます。インポートを行うには、「ホワイトリストの設定」ページの表示域でマウスを右ダブルクリックしてください。下記に示すホワイトリストのインポート画面が表示されます。

注) 初回設定時は、インポートを実施してください。

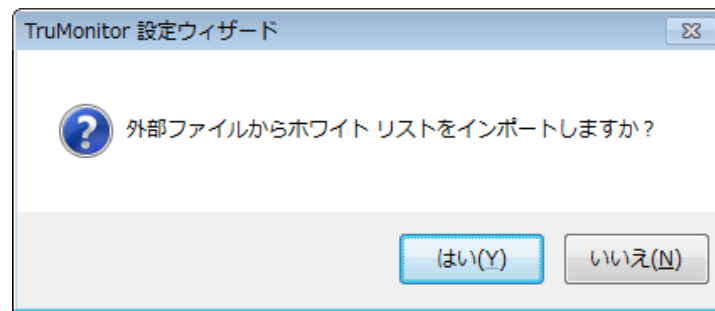


図 40 ホワイトリストのインポート画面

1) シングルライセンス版の場合

ホワイトリストのインポート画面で「いいえ」をクリックしてください。インストール後から自 PC に記録されたログデータを基に、自動的にリストを作成しインポートします。

2) ボリュームライセンス版の場合

ボリュームライセンス版をお使いの場合は、下記手順に従ってインポートしてください。

注) ログサーバーと設定ウィザードが同じ PC 上で実行されている時は、上記シングルライセンス版と同じ手順でもインポートできます。

- ① 上記ホワイトリストのインポート画面で「はい」をクリックします。
- ② 下記に示す「開く」(「ファイルを開く」)ダイアログが表示されたら、インポートするファイルの場所を指定し、予め TruMonitor ログビューアーで作成したデバイスリストファイル名を、ファイル名コンボボックスに入力した後、「開く」ボタンをクリックします。
- ③ 許可しない USB デバイスが登録されている場合は、前述の「項目の削除」に従って削除します。

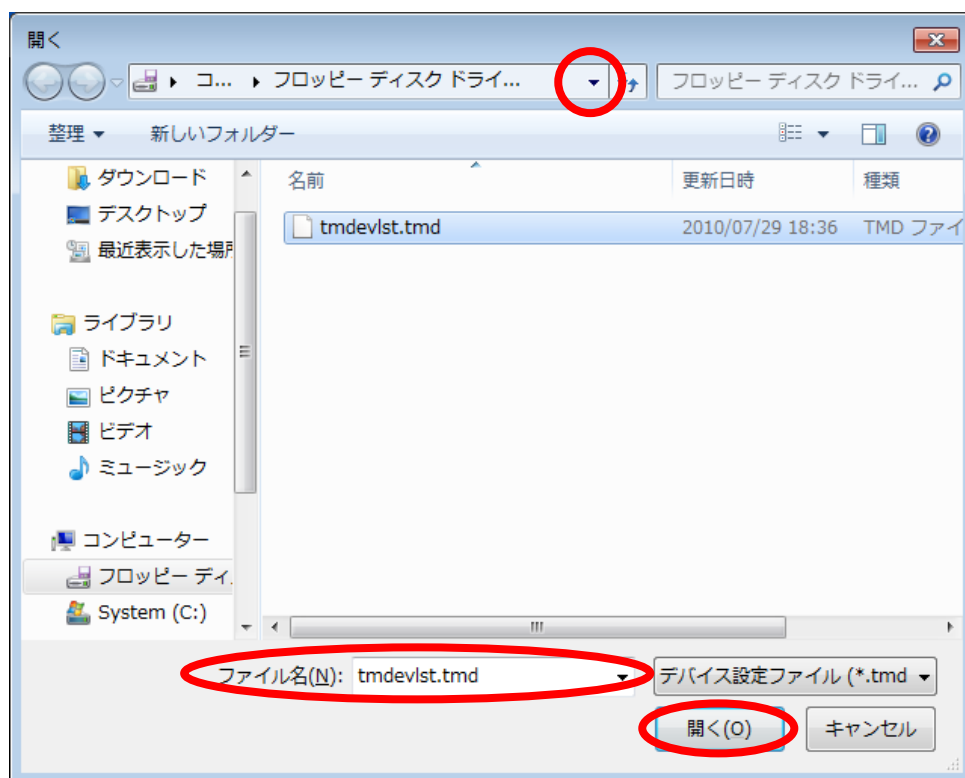


図 41 外部ファイルからのインポート画面

i. 取外し用ホワイト フィルタの設定

「ホワイトフィルタの設定(取外し用)」ページでは、取外しを許可するデバイスを製品識別子(VID&PID)カテゴリで一覧表示するとともに、取外しを許可するデバイスの追加や削除を行います。また、後述の「デバイスフィルタの設定」ページの設定内容が表示項目に反映されます。

i. リフレッシュ

マウスの右ボタンをシングルクリックすると、リストが更新されます。更新されたリストには、現在接続されているデバイスが含まれます。

ii. 項目の削除

取外しを許可しないデバイスをリスト上で選択し、マウスの左ボタンをダブルクリックすると、選択されたデバイスがリストから削除されます。

iii. リストのインポート

マウスの右ボタンをダブルクリックすると、その時点で「ホワイトリストの設定」ページに表示されている項目を、「ホワイトフィルタの設定(取外し用)」ページにインポートできます。インポート後、重複する同種デバイスは一つにまとめられます。

注 後述の「ホワイトフィルタの設定(装着用)」ページや「デバイスフィルタの設定」ページの設定内容に従って、インポート元である「ホワイトリストの設定」ページの表示内容は変化します。フィルタの設定順序にご注意ください。

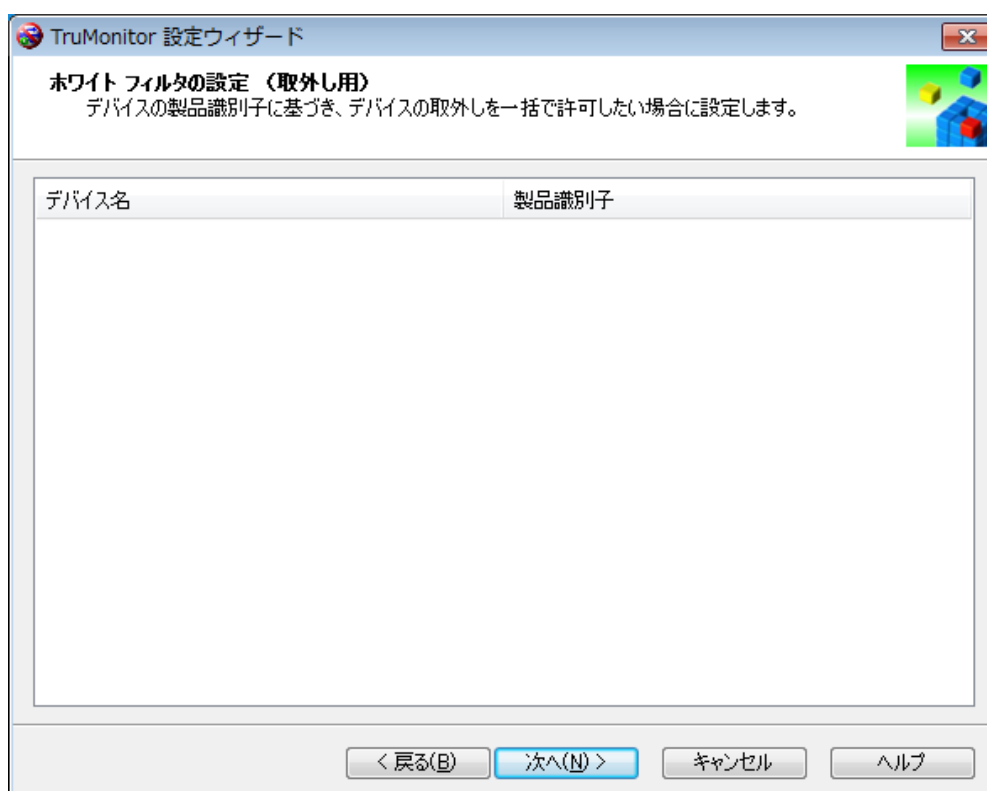


図 42 ホワイトフィルタの設定画面 – 取外し用

j. 装着用ホワイト フィルタの設定

「ホワイトフィルタの設定 (装着用)」ページでは、装着を許可するデバイスを製品識別子 (VID&PID) カテゴリで一覧表示するとともに、装着を許可するデバイスの追加や削除を行います。また、後述の「デバイスフィルタの設定」ページの設定内容が表示項目に反映されます。

i. リフレッシュ

マウスの右ボタンをシングルクリックすると、リストが更新されます。更新されたリストには、現在接続されているデバイスが含まれます。

ii. 項目の削除

装着を許可しないデバイスをリスト上で選択し、マウスの左ボタンをダブルクリックすると、選択されたデバイスがリストから削除されます。

iii. リストのインポート

マウスの右ボタンをダブルクリックすると、その時点で「ホワイトリストの設定」ページに表示されている項目を、「ホワイトフィルタの設定 (装着用)」ページにインポートできます。インポート後、重複する同種デバイスは一つにまとめられます。

注) 「ホワイトフィルタの設定 (装着用)」ページや後述の「デバイスフィルタの設定」ページの設定内容に従って、インポート元である「ホワイトリストの設定」ページの表示内容は変化します。フィルタの設定順序にご注意ください。

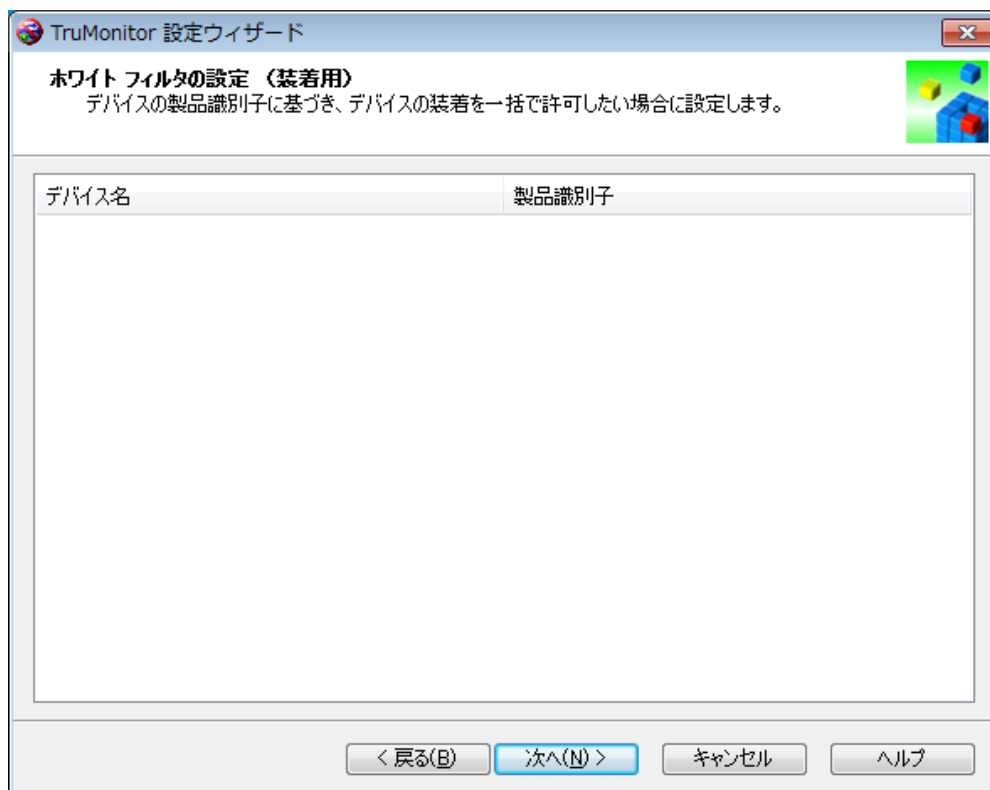


図 43 ホワイトフィルタの設定画面 – 装着用

k. デバイスフィルタの設定

「デバイスフィルタの設定」ページでは、検出対象デバイスのフィルタリングを設定します。フィルタリングが設定された USB デバイスクラスに属するデバイス、ならびにディスクデバイス類は、取外しおよび装着が行われた際に発生する P&P イベント検出時および OS 起動時の保護動作から除外されます。通常は、何も設定せずにご使用ください。

注) ポリウムライセンス版では、クライアント PC で使用している固定ディスクタイプに応じたディスクデバイスをフィルタリングしてください。同様に、USB デバイスクラスのヒューマンインターフェイスデバイスもフィルタリングする事を推奨します。

以下に夫々の初期値を示します。

USB デバイスクラス

初期値: 全てアンチェック

ディスクデバイス

初期値: 全てアンチェック

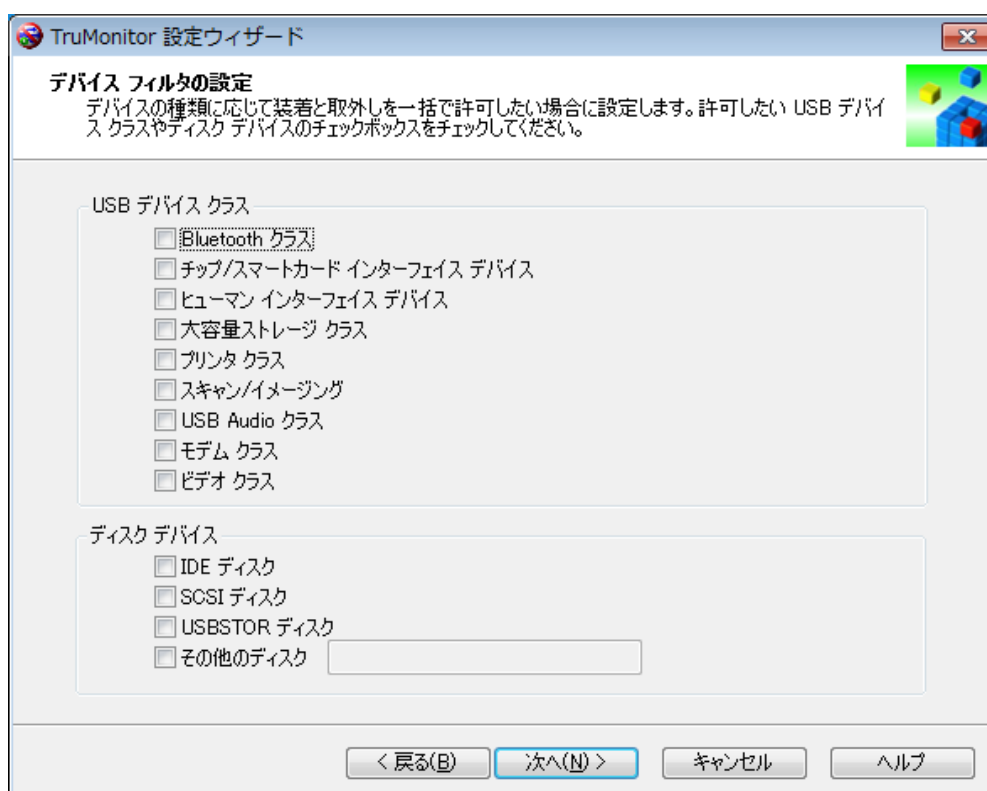


図 44 デバイスフィルタの設定画面

以下に、検出対象デバイスが属する USB デバイスクラスの識別手順例を示します。クラスが不明な場合は、例に従ってご確認ください。

- ① レジストリエディタ等で下記に示すレジストリキーを参照します。
HKLM¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Enum¥USB
- ② 上記キー下にある検出対象デバイスのキーを参照します。xxxx および yyyy は TruMonitor ログの製品識別子を参照してください。
VID_xxxx&PID_yyyy
- ③ 上記キー下にあるサブキーのうち、どれか一つを参照します。
- ④ 下記名の値を参照します。
CompatibleIDs
- ⑤ 参照した値のうち、USB¥Class_zz の zz 部分を下記表に照らし合わせ、対応する USB デバイスクラスを読み取ってください。

USB デバイスクラス	zz
Bluetooth クラス	E0
チップ/スマート カード インターフェイス デバイス (CCID)	0B
ハブ クラス	09
ヒューマン インターフェイス デバイス (HID)	03
大容量ストレージ クラス (MSC)	08
プリンタ クラス	07
スキャン/イメージング (PTP)	06
USB Audio クラス	01
モデム クラス (CDC)	02
ビデオ クラス (UVC)	0E

I. 設定ウィザードの終了

設定が正常終了したならば、「完了」ボタンをクリックして終了してください。

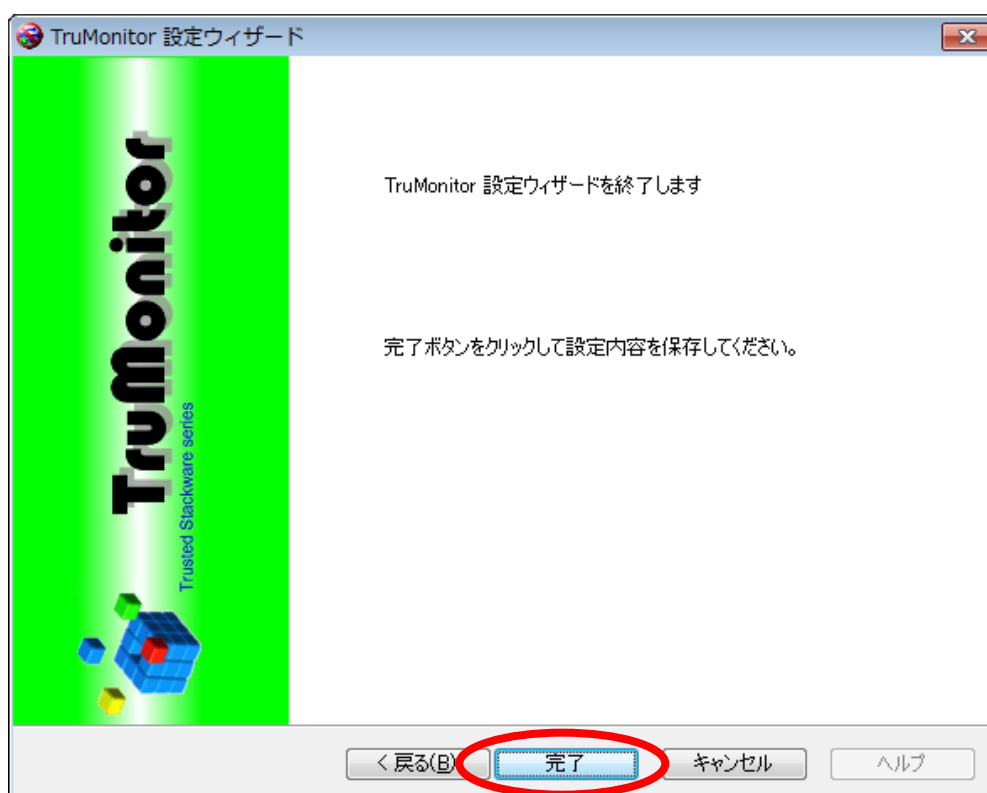


図 45 設定ウィザード - 設定終了

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定した内容が破棄されます(但し、「基本設定」ページにおいて「設定ファイル」の「インポート...」ボタンをクリックしてインポートされた内容は破棄されません)。また、「キャンセル」ボタンをクリックして、設定した内容を破棄した場合、下記に示す

様な注意を促すポップアップメッセージが表示されます。未許可デバイスが装着されていない事を確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。未許可デバイスが装着されていると、設定ウィザードの終了直後に、OS 起動時の保護動作が実行されます。

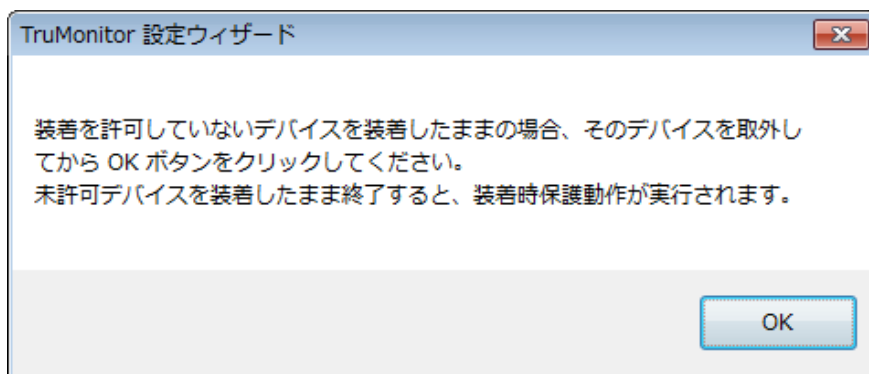


図 46 設定キャンセル時注意画面

また、前述の「リムーバブル記憶域へのアクセス設定」ページにおいて設定内容を変更した後、TruMonitor サービスが再起動されると、下記に示す様な注意を促すポップアップメッセージが表示されます。直に設定内容を反映させるには、「はい」ボタンをクリックしてください。「はい」ボタンがクリックされると OS が再起動されます。直に OS の再起動をさせたくない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。その場合、「リムーバブル記憶域へのアクセス設定」ページで変更された設定内容は OS が再起動されるまで反映されません。

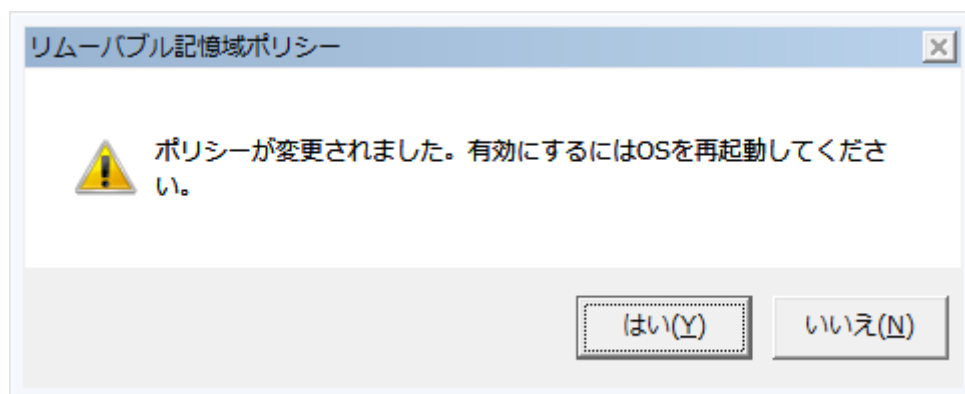


図 47 リムーバブル記憶域ポリシー変更時注意画面

以上

Trusted Stackware シリーズ製品に関するお問い合わせ

有限会社ディーオーアイネット

〒190-0011

東京都立川市高松町 2-25-23

E-Mail: info@doi-net.com

URL: <https://www.doi-net.com/>